

震災がれきの受け入れ反対

伊勢と伊賀の市民団体 県に要望書提出

岩手県久慈市の震災がれきの受け入れをめぐる、市民団体「原発おことわり三重の会」（伊勢市、林琉昇

記者会見する原発おことわり三重の会の関係者。県庁で



代表）と「放射能ええかげんにせん会」（伊賀市、田中宏樹代表）は二十一日、県内での受け入れに反対する要望書を県に提出した。要望書で両団体は、県が焼却灰の最終処理を要請している産業廃棄物処理業「三重中央開発」（伊賀市）が「本格焼却も含めて

受け入れを想定している」と指摘し、「市外からの廃棄物の持ち込みは公害防止協定で禁止されている」と主張している。

両団体は、県庁で廃棄物対策局の担当者に要望書を手渡し、その後の記者会見で「震災がれきは放射性廃棄物なので、拡散はやめてもらいたい」と述べた。